

コープで
広がる、
つながる

地域で活動する団体を 応援しています！

コープみらいかがやき大賞・地域かがやき賞



3月9日にコープみらいかがやき大賞・コープみらい地域かがやき賞合同表彰式が行われました

コープみらい かがやき大賞

特定非営利活動法人
子どもセンター・ピッピ
(埼玉県さいたま市)

親などから精神的・身体的・性的虐待やネグレクト（育児放棄）などを受け、家庭に安心・安全な居場所のない子どもへの支援を行っている、子どもセンター・ピッピ。どのような活動をされているのか、理事長の大倉浩さんに伺いました。

「ピッピではどんな活動をされているのですか？」

家庭に居場所のない10代後半の女の子を一時的に保護するシェルター（緊急避難場所）を設置・運営しています。次の自立の場所である自立援助ホームや児童養護施設、家庭などにつなげる

※コープみらい財団は、豊かな地域社会づくりのために活動している市民団体を応援するため、「コープみらいかがやき大賞」「コープみらい地域かがやき賞」として表彰しています。2018年度の受賞団体を紹介します。

※コープみらいがこれまで進めてきた組合員や地域の支援活動を発展させるため、2015年に設立しました

までのさまざまな支援をしています。自立援助ホームなどがあるため、ピッピで2カ月から半年程度預かります。児童相談所や自治体、学校の先生と連携し、2017年の設立以来8人を保護しました。保護するのは女の子で、これは男女別にした方が良く、男の子に比べて居場所の確保が難しく、性的被害にあうリスクが高いからです。

「活動のきっかけを教えてください。」

私は弁護士をしています。弁護士になって初めて担当したのが、家庭に問題のある少年の事件でした。非行に走ってしまった子どもは、その親も愛情を受けない育った場合が多いです。未来ある子どもたちが負の連鎖を断ち切り、幸せな家庭を持ち、

幸せな人生を送ってほしい、とこの活動を始めました。

「今後、どのような活動をする予定ですか？」

実際にシェルターを運営してみても、足りないところもあることがわかりました。これまでボランティア中心に運営していましたが、今は受け入れを一時停止し、施設長など専従のスタッフを募集しています。埼玉県では多くの子どもが困難な問題に向き合っています。子どもが安心して生活でき、自立への一歩につながるよう、子どもに寄り添った活動を広げていきたいと考えています。



子どもセンター・ピッピ理事長の大倉浩さん。表彰式で活動を報告していただきました

コープみらい地域かがやき賞 (大賞含む9団体)



特定非営利活動法人

男女共同参画おた (東京都大田区)

性によって行動や職業が制限され、生きづらさを感じている人々が多い日本の現状をとらえ、性別にかかわらず誰もが生きやすい社会を目指して活動している。特に最近では「女性、子ども、高齢者の視点での防災、避難所運営」や「人が集まる企画とチラシの作り方」「女性のキャリア支援」などをテーマとして日本全国から講演の依頼を受けている。



地元の中学校で実施した防災講座の様子



東千葉

「ハッピータウンの会」(千葉市中央区)

地域通貨を使った会員相互の助け合い活動をすすめながら、地域の安全・安心・愛着が深まる活動に取り組み、住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らし続けられる地域づくりを目指している。



東千葉住民フォーラムの様子

団体名	活動内容
認定特定非営利活動法人 たすけあいの会ふれあいネットまつど (千葉県松戸市)	地域に住む誰もが持っている「住み慣れた街で自分らしく暮らしたい」という願いを実現するために、①困ったときはお互いさまの精神のたすけあい活動、②社会活動を実施。
アースドクターふなばし (千葉県船橋市)	“めざすはストップ温暖化!”をスローガンに、市内公民館、学校を主活動拠点とした出前講座の実施や、フェア・イベントに参加して啓発推進活動を実施。
埼玉県指定・認定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター (埼玉県ふじみ野市)	地域の外国籍の方々への生活相談、日本語教室、国際子どもクラブなどを実施しているほか、7か国語での生活情報誌を発行し、多文化共生の街づくりを目的に活動している。
特定非営利活動法人 うりんこくらぶ (埼玉県久喜市)	障がい者と健常者がともに活動し協力し合うノーマライゼーションを目指し、野菜栽培や子育て座談会&コンサート、キッズアートプロジェクトなど子どもの感性を磨き想像力をはぐくむ活動や子育ての不安や悩みを軽減させるための取り組みを行っている。
公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を (東京都中央区)	難病を患う子どものみならず“家族全員”を支援することをテーマに、元ディズニーランドの社員が2010年に設立。どのような境遇においてもわが子を、わが家庭を支える“母”を応援。夢の家族全員旅行や病室・お家でのパーティー、訪問看護などを実施。
みやけじま風の家 (東京都三宅村)	2000年の三宅島・雄山噴火から約4年半にわたる全島避難を経て帰島した島民の居場所づくりを実施。高齢者・障がい者が集える場として島民と支援者が共同設置・運営し、島内外の人との多様な交流を通じたコミュニティー支援活動に取り組んでいる。



協同を広げ、豊かな地域社会をつくる活動を応援します

すべての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み込み支えあう「ソーシャル・インクルージョン (社会的包摂)」の理念やSDGs[※]は、コープみらいの「協同と助け合いの社会づくり」そのものです。そうした理念や目標の実現のために、コープみらいは地域の諸団体との協同をととても大切にしています。今回の「地域かがやき賞」受賞団体のテーマは「虐待児童保護」「居場所作り」「男女共同参画」「助け合い」「環境保全」「外国人サポート」「ノーマライゼーション」「難病患者・家族支援」「災害復興支援」と実に多彩で、こうした活動をコープみらい財団として表彰することで支援・応援しています。協同の広がりこそ地域の豊かさです。ともに手を取り合っていきましょう。

※2030年までの達成を目指す国連の「持続可能な開発目標」



コープみらい財団 理事長 小林新治

コープみらい財団のご案内

コープみらい財団では、地域を豊かにしようと活動している団体への助成「コープみらい くらしと地域づくり助成」や、ひとり親家庭の高校生への返済不要の給付型奨学金事業も実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

コープみらい財団

検索

<https://www.coopmirai-zaidan.or.jp/>

